



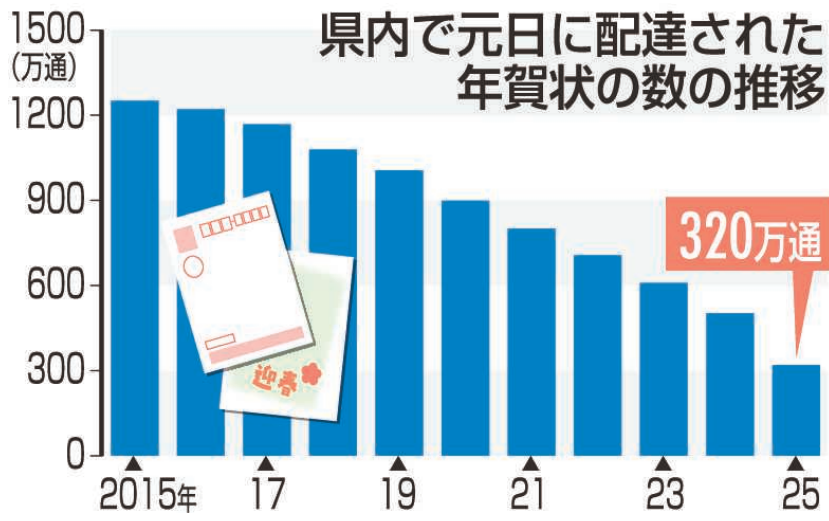
年 組 名 前

翌年以降の年賀状を辞退することを書いて送る「年賀状じまい」が話題になっています。

「年賀状じまい」についてあなたはどのように考えますか。記事を参考にしながら、考えを整理する構成メモを書きましよう。

県内年賀状10年で7割減

県内で元日に配達される年賀状の数が減少している。日本郵便東北支社（仙台市）によると、今年配達されたのは320万通で2015年の1251万通から約7割減つ



た。24年と比較した減少率も36・4%となり、15年からの10年間で最大だった。昨年の郵便料金引き上げなどを受け、経費削減を目的とした「年賀状じまい」に踏み切る企業や市民が増えたことが一因とみられる。

県内で元日に配達された年賀状の15年以降の推移をみると、19年までは1千万通台だったが、20年に899万通となった。その後は22年707万通、24年503万通

と右肩下がり状態が続いている。秋田中央郵便局の担当者は、交流サイト（SNS）の普及やペーパーレス化の浸透なども年賀状の配達数が下

止まらない要因とみる。秋田中央郵便局の担当者は「年賀状や手紙はメールと違い、ぬくもりが感じられるものだと思う。年賀状を送り合うのは日本独自の文化。次世代に継承できるよう、素

晴らしさを幅広く訴えていきたい」と話した。

※「右肩下がり」後になるほど数値が低くなること。

※「下げ止まらない」数値などの下降が止まらないこと。

秋田魁新報2025年1月6日付より。記事は手直ししています。

条 件

- ・立場を明確にし、()に○を書きましよう。
- ・「始め」と「終わり」には、あなたの考えを書きましよう。ただし、「終わり」の考えは「中」とのつながりをもたせましよう。
- ・「中」には、「考えの根拠となる体験や伝聞などの事例」と、「予想される反論」「反論に対する自分の考え」を入れましよう。
- ・メモなので、か条書きやなるべく短い文にしましよう。

立 場

- () 年賀状は、なるべく継続した方がよい。
- () 「年賀状じまい」も選択肢の一つだ。

終わり	中	始め
	<p>△予想される反論▽</p> <p>△反論に対する自分の考え▽</p>	<p>△体験・伝聞など▽</p>